日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
Vol. 5

せせらぎ

～ 小 川 赤 十 字 病 院 広 報 誌 ～

新年のごあいさつ

院長　竹ノ谷　正徳

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のことですが漢字能力検定協会の漢字ひと文字で表す「今年の漢字」は「戦」が選ばれました。ロシアによるウクライナ侵攻など戦争を意識した年であったことや、円安、物価高など生活の中での「戦」を意識した人が多かったようです。また、サッカー日本代表がワールドカップでドイツやスペインという強豪を破ったことも大きく影響したのでしょう。三苫の1ミリや権田の18秒にはたいへん感動し日本も捨てたものではないと勇気をもらいました。しかし、我々医療関係者にとってはやはり新型コロナウイルス感染症との「戦」が一番に頭に浮かぶのではないでしょうか。昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。ダイヤモンドプリンセス号から始まった国内の新型コロナウイルス感染症もすでに3年が過ぎようとしていますが、ウイルスは変異を繰り返し未だ第8波の中にあります。当院は早くから帰国者接触者外来、発熱外来を設置し、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関としてたくさんの感染症患者の入院治療に努めてまいりました。関係スタッフの医療従事者としての義務感からの献身的な働きには頭の下がる思いです。ただ、いつ終わるとも知れないこのウイルスとの「戦」にスタッフもストレスが溜まってきているのも事実です。これは発熱外来やワクチン接種にご協力いただいているすべての医療関係者やクラスターへの対応に追われている施設関係者も同様でしょう。それでも、私たちは地域住民の健康を守るためにこの「戦」を辞めるわけにはいきません。厚生労働省は感染法上の分類をいわゆる「2類相当」から「5類」への引き下げも含め検討を始めています。ただ、医療現場では感染リスクを考慮して今までと同様に慎重に対応していかなくてはなりません。そのため感染予防の面から患者さんにはご不自由なことも多いかと思います。どうかご理解いただくようお願い申し上げます。

さて、昨年当院は地域医療支援病院の認定を受けました。また、埼玉県の災害時連携病院にも指定されました。そこで、地域支援病院としての役割分担を今まで以上に明確化していくことが求められています。そのためには安定した状態の患者さんはできるだけ「かかりつけ医」に紹介していくことが基本方針となります。そして当院の専門科への紹介や入院治療の依頼はもちろん、CT、MRI、RI、血管造影等の特殊検査を積極的に活用していただき病診連携を円滑に進めていきます。また、患者さんが安心して「かかりつけ医」で診療が受けられるようにするためにも救急患者への対応を今まで以上に充実したものにしてまいります。

まだまだ常勤医師不足など課題は山積しておりご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、小川赤十字病院は地域の中核病院として今まで以上に皆様の期待に応えていく所存です。今後もご支援をよろしくお願い申し上げます。

目次

新年のごあいさつ …… 1
血管撮影室機器更新について …… 2
紹介患者さん専用予約枠の新設について …… 2
令和4年度 日本赤十字社第2ブロック支部災害救護訓練 …… 3
令和5年4月1日から土曜日の外来診療を変更します …… 4
ご案内 …… 4

基本理念　患者さんの安心と満足のために、地域の中核病院として総合的な医療を提供します。

血管撮影室機器更新について

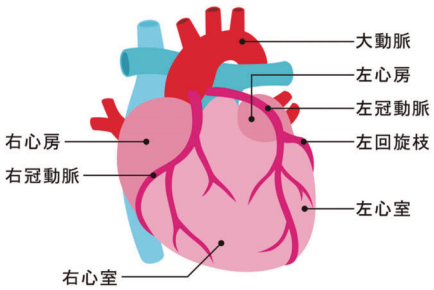
放射線科

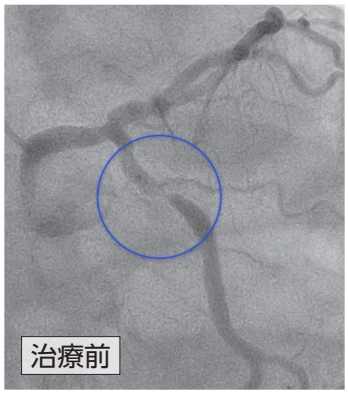
２０２２年８月当院の血管撮影室機器更新がおこなわれ新装置（ＰＨＩＬＩＰＳ社製）が導入されました。この装置は、限りなく低い被爆線量と少量の造影剤で細い血管の映像を鮮明に映し出すことが可能です。患者様自身への負担軽減によりいっそう大きな期待が持てる装置となっております。

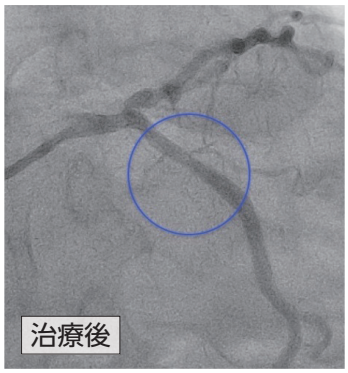
当院では平成５年頃から30年以上に渡りカテーテル検査による診断・治療に取り組んでおります。現在は主に心疾患への対処を行なっておりますが、その大部分を占めている「虚血性心疾患」は、心臓の筋肉（心筋）へ血液を送る細い血管（冠動脈）が詰まったり、血液の流れが悪くなることで心筋が酸素不足となり、狭心症や心筋梗塞を引き起こします。心疾患による死亡率は「がん」に次いで死因第２位を占めており、さまざまな検査の中でも特に緊急を要し、迅速な治療が必要です。

検査は、循環器内科医、看護師、臨床工学士、放射線技師がひとつのチームとなって行います。心臓疾患についてお悩みや疑問をお持ちの方は一度担当医にご相談ください。

なお、この装置は「一般社団法人日本損害保険協会の自動車損害賠償責任保険運用益助成金にかかる令和４年度交通災害等救急医療機器整備事業」により整備されました。







紹介患者さん専用予約枠の新設について

小川赤十字病院は地域医療支援病院として、入院診療及び救急診療を充実させ、外来機能の明確化と地域医療連携の強化を行い、「地域一体型医療」を目指しております。

まずは、かかりつけ医からの患者さんの流れを円滑にする為、紹介型の外来診療を推進致します。

従来は初診患者さんの予約はお受けしておりませんでしたが、紹介状をお持ちの患者さんに限り、初診の予約をお取りできる体制を整えました。

ご紹介状をお持ちの方、健康診断で要再検査が必要となった方は、受診予約が可能ですので、小川赤十字病院の医療連携室までご連絡ください。

地域一体型医療

かかりつけ医
地域の医療機関
診察・相談

専門的な検査や入院治療が必要な場合紹介

症状が安定したら今後の診療を依頼

地域医療支援病院
小川赤十字病院
入院・手術等

かかりつけ医は必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれます。

◆0493-72-2333（代表）にお電話いただき、下記予約担当へご連絡ください。

紹介予約制 医療連携室でご予約いたします。

内科	外科	整形外科
泌尿器科	脳神経外科	眼科
耳鼻咽喉科	皮膚科	麻酔科

完全予約制 各診療科でご予約いたします。

精神科	産婦人科

令和4年度 日本赤十字社第2ブロック支部災害救護訓練

外科医師　木村恭彰

日本赤十字社は災害時などの救援業務を本来の使命とし、指定公共機関として直ちに救護にあたる重要な任務を有しています。そのため、様々な規模の災害を想定し、日本赤十字社内の支援活動および救護関係各機関・団体と連携した活動の実践とそれらを踏まえた検証を目的として毎年訓練を行なっております。今回は、11月19日、11月20日に神奈川県西部を震源とするM８．４の地震を想定して、第2ブロック支部（関東1都6県、新潟県、山梨県）の広域支援活動および救護関係各機関・団体と連携した訓練を行いました。

災害が発生すると、県支部で災害対策本部が設置されます。日赤災害医療コーディネートチームおよび隣接県である静岡県支部と第2ブロック内の各県から救護班が参集することになり、私たちは埼玉県支部の代表として小川赤十字救護班 7名（医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名）で神奈川県秦野赤十字病院へ行って参りました。

訓練とはいえ、災害対策本部が設置されている秦野赤十字病院に向かうと、本番さながらの空気感で会議が始まりました。発災翌日時点で確認できている情報を共有し、避難者がたくさん集まっているはずの避難所の情報が全くないため、避難所の情報収集および診療を行うように指示を受け、1日で避難所2カ所のアセスメント及び巡回診療を行いました。

実際の内容としては、病院への搬送が必要な患者さんをみつけて調整するだけでなく、ライフラインや衛生面についてもアセスメントを行います。普段のような患者さんの診療だけでなく、避難所での生活するために必要な物資の支援や工夫、病気の予防など様々なことを考える必要がありました。また後続の救護班へ必要な情報を残すことがとても重要であり、普段はあまり気にせずに行っている診療記録を残すこと自体に時間と人手を要することを実感しました。さらに近年ではコロナ禍のため、発熱患者の対応や感染予防に配慮した対応も必要になりました。反省点もありましたが、1日目に訓練を行なった後、2日目に訓練の振り返りを行い、疑問点を共有して意見交換することで次に活かせるような充実した内容となりました。

今回の経験を活かして、災害時にも皆様の健康と安心を提供できるように、地域医療・災害医療に取り組んでまいります。

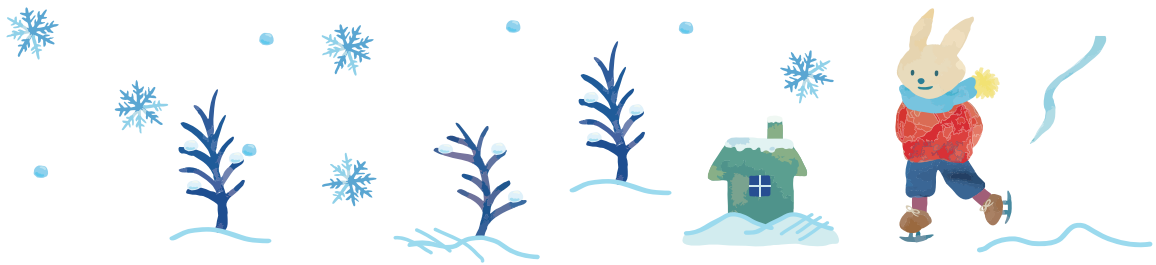
令和5年4月1日から土曜日の外来診療を変更します

当院では、これまで第１・３週の土曜日を外来診療日としてまいりましたが、全国的に推進されている働き方改革を踏まえ、令和５年４月１日から毎週土曜日を休診日と変更いたします。

皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

記

１．変　更　日	令和５年４月１日から
２．外来休診日	土曜日、日曜日、祝日、12/29～1/3（年末年始）、5/1（創立記念日）
３．外来診療日	月曜日から金曜日まで（休診日除く） 外来受付時間の変更はありません



ご　案　内

当院では新型コロナウイルス感染症対策として、入口での体温チェックや南玄関の封鎖、外来診療日の出入口開錠時間の変更、中央病棟前駐車場（第４駐車場）の利用時間制限を行っております。今後の動向により変更もございますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。最新の状況は当院ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連ページ」をご覧ください。　（上記は、2022年9月末時点での対応です。）

診療受付時間

8：30～12：00（土曜日のみ11：30まで）
※各診療科、各曜日において受付時間が異なりますので最新の情報は当院HPにてご確認ください。
※再診の方は、再来受付機により受付けております。
※紹介状をお持ちの方は直接、医療連携室(本館２階)へお越しください。

休　診　日

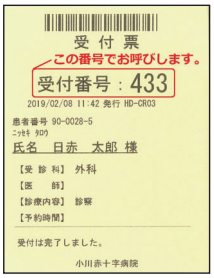
第２・第４・第５土曜日、日曜祝日、
年末年始(12月29日～１月３日)、創立記念日(５月１日)

受診に際して

各診療科の特殊外来(乳腺外来を除く)は、予約制の為、始めに一般外来の受診をお願いしております。診療日等詳細については各科外来にお問い合わせください。特殊外来の他、一般外来でも専門分野がございますので、お気軽にご相談ください。
当院では紹介状をお持ちでない患者さんにつきましては、令和４年10月１日より国の定めに基づく選定療養費7,700円をご負担いただいております。当院受診の際は、紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

お呼び出しについて

内科・外科・整形外科外来では、受付票の番号にてお呼びしております。



急病等の時間外診療について

平日は16：45から翌日８：30まで、第1・3土曜日は12：30以降、休診日は終日、必ず電話連絡の上ご来院ください。
また、保険証・診察券(お持ちの方)・現在飲んでいるお薬等をご持参ください。
なお、当院の救急外来は、地域の緊急患者の受け入れを行っているため、救急医療の機能向上を目的として、緊急性を要しない（いわゆる軽症の）患者さんの時間外受診には、**原則時間外選定医療費3,300円**をご負担いただいております。通常の診療費に加えてご負担いただいておりますので、ご理解をお願いいたします。
詳しい内容については医事課までお問い合わせください。

病院情報はこちらから

ホームページ
http://www.ogawa.jrc.or.jp

スマホ用

せせらぎ ～小川赤十字病院広報誌～　Vol.5　令和5年2月
編集発行：小川赤十字病院広報広聴委員会
発 行 所：小川赤十字病院　〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川1525　Tel.0493-72-2333　Fax.0493-72-2755
印　　刷：株式会社イステムジャパン